



2014年3月期 決算説明会

2014年5月13日

株式会社 メディカルホールディングス

証券コード 7459



目次

1. 2014年3月期 決算の概況
2. 医療用医薬品等卸売事業の
業績と今期の取組み
3. 化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業の
業績と今期の取組み
4. 2015年3月期 業績予想



1. 2014年3月期 決算の概況



2014年3月期決算の総括

「2014年3月期 連結業績」

⇒ 期初予想に対して、売上高、営業利益ともに計画を達成

◎メディセオ事業

- ・売上は計画を上回る
- ・営業利益は計画どおり

◎Paltac事業

- ・売上、営業利益とも計画を上回る

◎動物用医薬品等卸売事業

- ・売上、営業利益ともほぼ計画どおり

⇒「2014メディパル中期ビジョン」に対して、
ほぼ経営目標通りの実績

※メディセオ事業は「医療用医薬品等卸売事業」を、

Paltac事業は「化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業」を示しています。

※2014年3月期より、関連事業の中から動物用医薬品等卸売事業を独立させ、表記しています。



連結損益計算書(前期比較)

〈単位:億円〉

	2013年3月期		2014年3月期			増減額
	実績	売上比	実績	売上比	前期比	
売上高	28,109	—	29,477	—	+4.9%	+1,368
売上総利益	2,021	7.19%	2,093	7.10%	+3.6%	+72
販管費	1,736	6.18%	1,746	5.92%	+0.6%	+10
営業利益	285	1.01%	346	1.18%	+21.5%	+61
経常利益	396	1.41%	497	1.69%	+25.6%	+101
当期純利益	186	0.66%	254	0.86%	+36.6%	+68
EPS	82円		112円			+30円



連結損益計算書(計画対比)

〈単位:億円〉

	2014年3月期		2014年3月期		差異額
	計 画	売上比	実 績	売上比	
売 上 高	29,090	—	29,477	—	+387
売上総利益	2,112	7.26%	2,093	7.10%	▲19
販 管 費	1,782	6.13%	1,746	5.92%	▲36
営業利益	330	1.13%	346	1.18%	+16
経常利益	470	1.62%	497	1.69%	+27
当期純利益	240	0.83%	254	0.86%	+14



主な連結営業外損益

営業外収益

165億円

受取利息及び配当金

19億円

情報提供料収入

74億円

不動産賃貸収入

10億円

持分法適用による投資利益

46億円

→うち、四国薬業の
負ののれん償却32億円

営業外費用

14億円

支払利息

4億円

不動産賃貸費用

5億円



2. 医療用医薬品等卸売事業の 業績と今期の取組み



メディセオ事業の業績

〈単位：億円〉

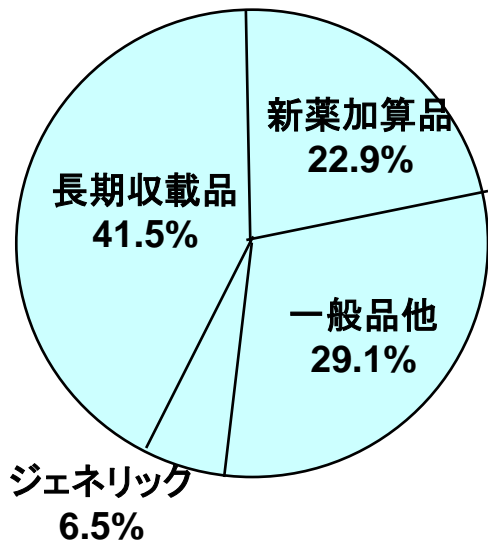
	2014年3月期 計 画	売上比	実 績	売上比	前期比	計画差異
売 上 高	20,890	—	21,019	—	+4.6%	+129
売上総利益	1,425	6.82%	1,392	6.63%	+3.7%	▲33
販 管 費	1,231	5.89%	1,197	5.70%	+0.0%	▲34
営 業 利 益	194	0.93%	195	0.93%	+33.9%	+1

※ご参考：2014年3月期の医療用医薬品卸売市場の成長率（クレコンR&C）：+3.8%

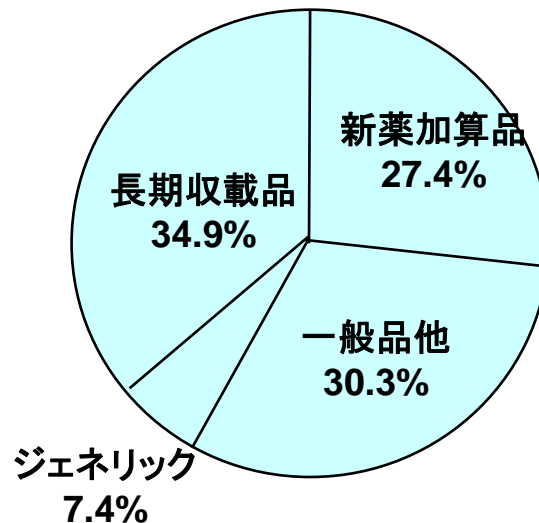


医薬品のカテゴリー別売上構成比の変化

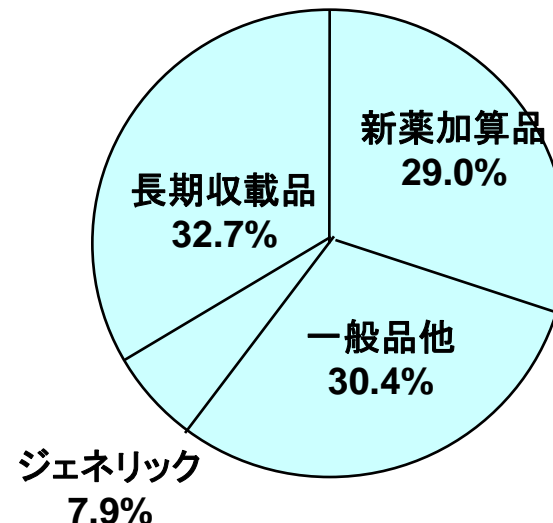
2012年3月期



2013年3月期



2014年3月期



	前期比
新薬加算品	110.4%
一般品他	99.6%
ジェネリック	107.7%
長期収載品	101.4%



	前期比
新薬加算品	122.0%
一般品他	106.2%
ジェネリック	115.2%
長期収載品	85.9%



	前期比
新薬加算品	116.3%
一般品他	111.1%
ジェネリック	111.8%
長期収載品	90.1%

※金額ベース(メディセオ、エバルス、アトル 3社合算)

※「一般品他」は、新製品などの新薬創出加算品以外の特許品などです。

※ワクチン等薬価のない商品は除いています。



今期の取組み

〈業界を挙げた取組み〉

① “流通改善”

〈メディパル固有の取組み〉

② 物流機能の強化 (ALC/FLC)

③ 営業機能の強化 (MS/AR)



①流通改善：業界を挙げた取組み

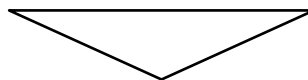
◇「総価取引」の是正

⇒ 単品単価（カテゴリー別）交渉が浸透

◇「未妥結・仮納入」の是正

⇒ 遡及値引きが解消

⇒ 妥結率 98.9%（2014年3月末日時点）



2014年4月以降も、
“定着”に向けた取組みを継続！

薬価調査の信頼性確保のため、
単品単価で早期に交渉





②物流機能の強化: ALC/FLC

2014年3月期:

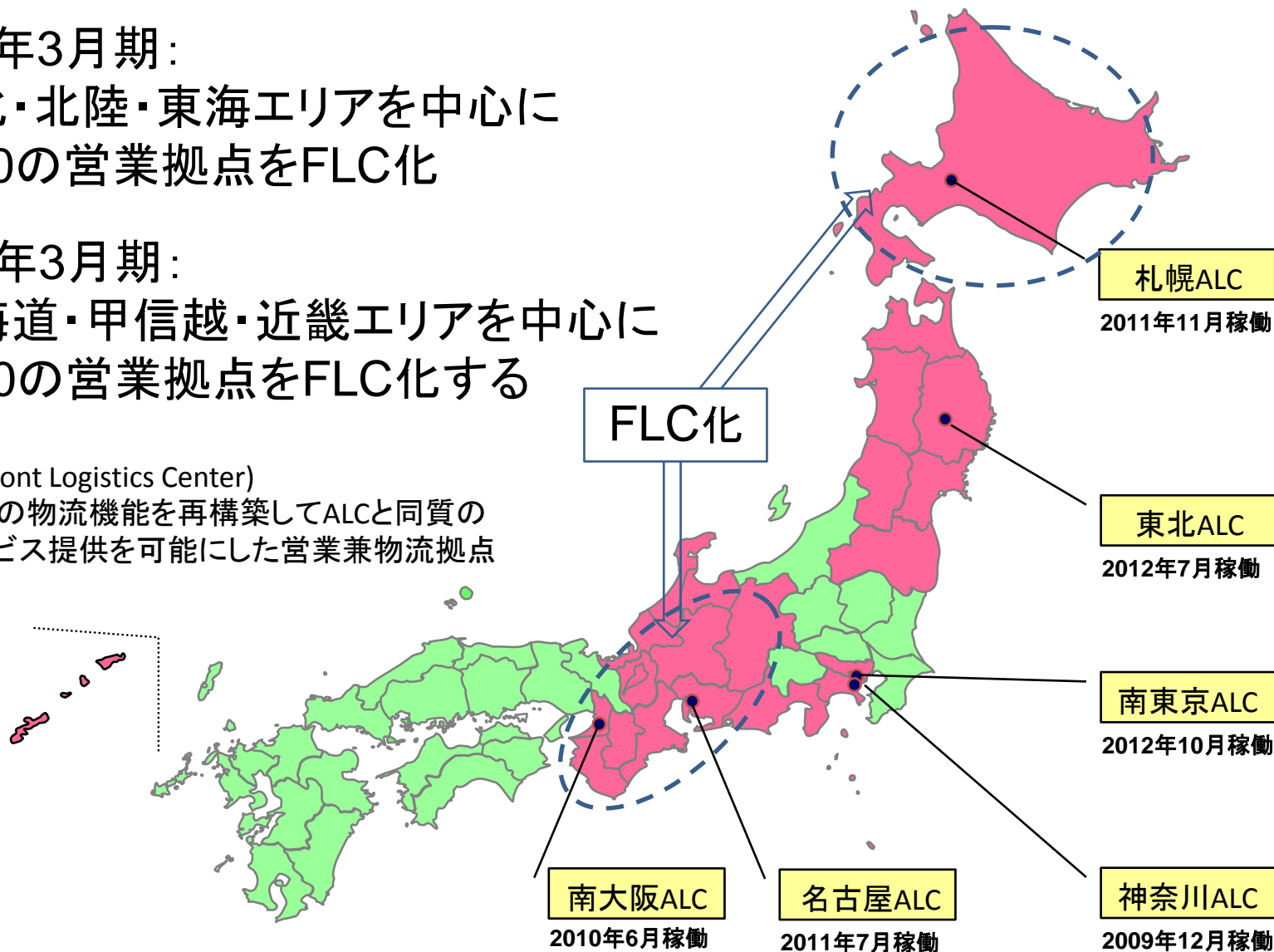
東北・北陸・東海エリアを中心に
約30の営業拠点をFLC化

2015年3月期:

北海道・甲信越・近畿エリアを中心に
約20の営業拠点をFLC化する

※FLC(Front Logistics Center)

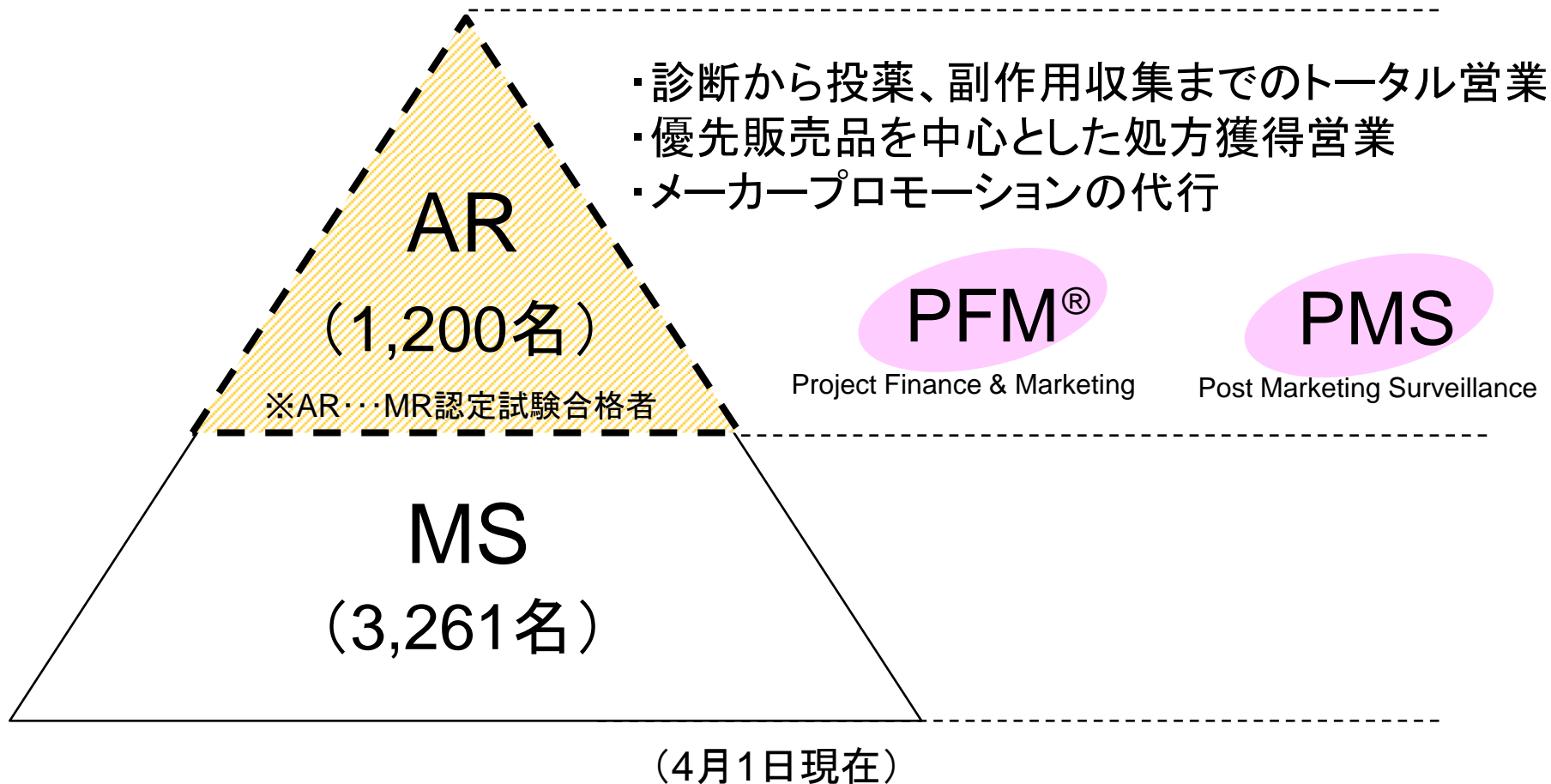
= 従来の物流機能を再構築してALCと同質の
サービス提供を可能にした営業兼物流拠点





③営業機能の強化: AR(Assist Representatives)

ARが、ビジネスの新たな道を拓く！





3. 化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業の 業績と今期の取組み



Paltac事業の業績

〈単位：億円〉

	2014年3月期 計 画	売上比	実 績	売上比	前期比	計画差異
売 上 高	7,788	—	8,049	—	+5.8%	+261
売上総利益	620	7.97%	635	7.89%	+3.5%	+15
販 管 費	490	6.30%	495	6.15%	+2.2%	+5
営 業 利 益	130	1.67%	139	1.74%	+8.1%	+9



堅実な設備投資を実施

RDC宮城

- ◆ 宮城県白石市（2013年9月稼働）
- ・投資総額 47億円
- ・出荷能力 350億円
- ・広域な東北エリアを2拠点体制（RDC東北＋RDC宮城）でカバー
⇒ 配送効率向上

RDC北陸

- ◆ 石川県能美市（2013年11月稼働）
- ・投資総額 53億円
- ・出荷能力 350億円
- ・リプレイス（再構築）による北陸エリアの事業基盤強化
- ・最新鋭設備導入 ⇒ 生産性向上

両拠点特徴：ハイブリッド型センター

多様化する小売業様の物流ニーズに対応

物流効率化による生産性向上・投資効率向上



関東エリアの事業基盤を強化・拡充

〔仮称〕RDC埼玉

[所在地] 埼玉県白岡市

[稼働] 2015年夏季予定

(1棟目の建設に着手済み)



< 概要 >

敷地面積：約2万5000坪

(2013年10月 用地取得済み)

出荷能力：800億円

◆ 交通利便性向上

・東北自動車道久喜ICまで 約5Km

・圏央道白岡菖蒲ICまで 約1Km

・東京都心から約40Kmと

関東エリアの物流拠点として好立地

⇒ **物流効率向上**

最大市場である関東エリアを4拠点体制でカバー
更なる**サプライチェーンの効率化を推進**

※4拠点・・・〔仮称〕RDC埼玉、既存3拠点（RDC東京、RDC横浜、RDC群馬）



4. 2015年3月期 業績予想



2015年3月期 連結業績予想

〈単位:億円〉

	2014年3月期 実績	売上比	2015年3月期 予想	売上比	前期比
売上高	29,477	—	29,780	—	+1.0%
売上総利益	2,093	7.10%	2,111	7.09%	+0.8%
販管費	1,746	5.92%	1,761	5.91%	+0.8%
営業利益	346	1.18%	350	1.18%	+1.0%
経常利益	497	1.69%	463	1.55%	-7.0%
当期純利益	254	0.86%	232	0.78%	-9.0%

EPS	112円	102円
-----	------	------



事業セグメント別の業績予想

〈単位：億円〉

	2015年3月期 連結業績予想		うち、 医療用医薬品等卸売事業			うち、化粧品・日用品、 一般用医薬品卸売事業		
		売上比		売上比	前期比		売上比	前期比
売上高	29,780	—	21,250	—	+1.1%	8,125	—	+0.9%
売上総利益	2,111	7.09%	1,412	6.64%	+1.4%	634	7.80%	-0.2%
販管費	1,761	5.91%	1,216	5.72%	+1.6%	491	6.04%	-0.9%
営業利益	350	1.18%	196	0.92%	+0.2%	143	1.76%	+2.2%
経常利益	463	1.55%						
当期純利益	232	0.78%						



設備投資額と減価償却費（実績と2015年3月期計画）

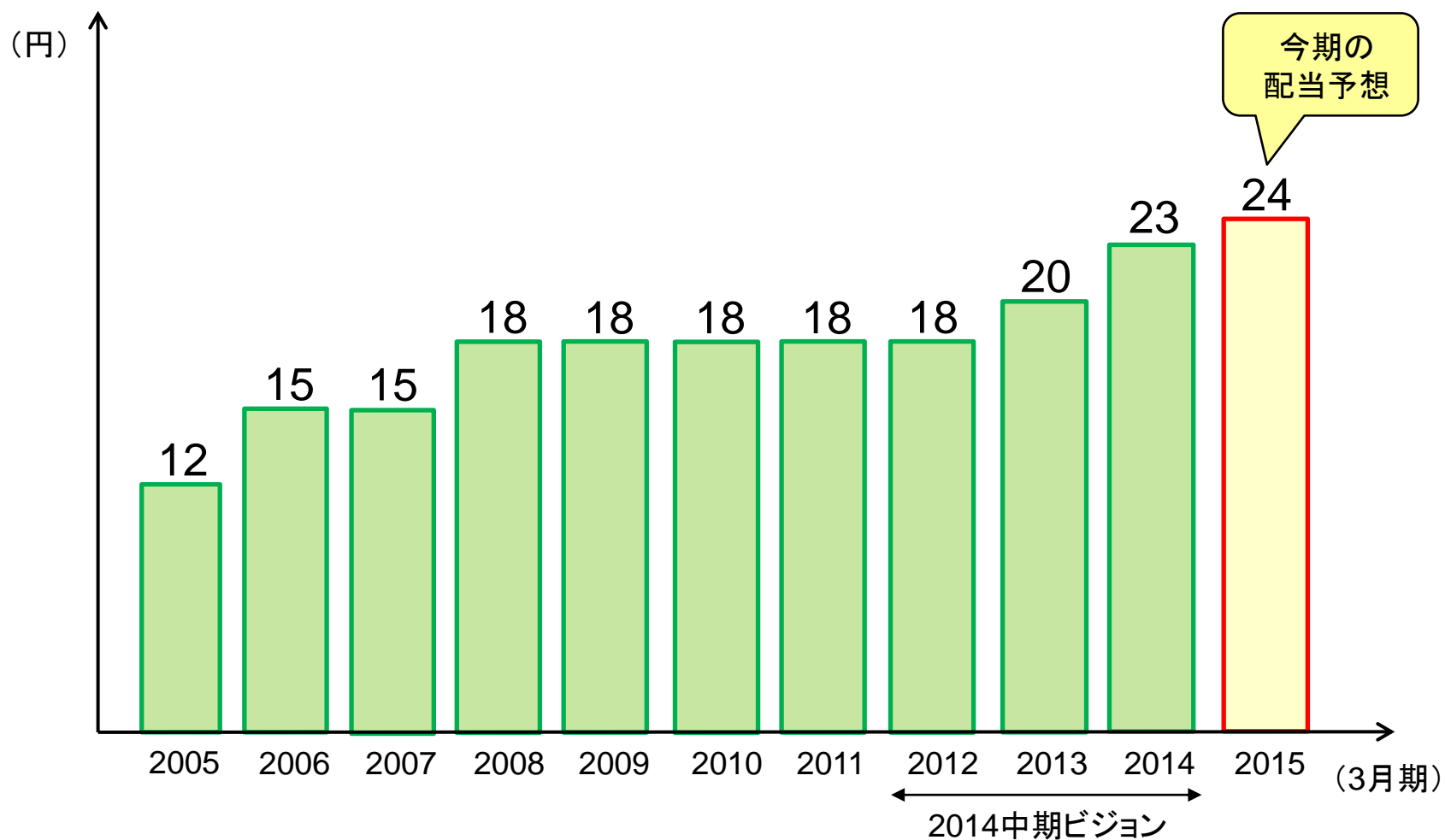
	2014年3月期（実績）	2015年3月期（計画）
設備投資（総額）	247億円	308億円
内、メディセオ事業	126億円	304億円
内、Paltac事業	120億円	2億円
減価償却費 （連結販管費）	115億円	111億円

※メディセオ事業は「医療用医薬品等卸売事業」を、
Paltac事業は「化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業」をそれぞれ示しています。





「1株当たり年間配当金」の推移と今期の予想



経営理念

流通価値の創造を通じて
人々の健康と社会の発展に貢献します。



株式会社 メディパルホールディングス